



## 「夢」・「希望」

～今年もよろしくお願ひいたします～

校長 中西 健二

新しい年がスタートした。

年の初めには「夢」や「希望」という言葉をよく耳にする。

二学期の終わり頃。

朝 正門で子ども達を迎えていると

いつも目を伏せ 私の横をそっと素通りしてしまう子が登校して来た。

その日も いつも通り笑顔でこちらから「おはようございます」と声をかける。

すると その日 その子は 少し躊躇しながらも 歩きながら顔を上げて  
小さいながらもはつきりと

「おはようございます」と言ってくれた。

ほんの数秒の出来事。

周りの誰も気づかなかつたかもしれない。

でも私は その声を聞いた瞬間 胸の奥がじんわりと温かくなつた。

きっとその子は 勇気を出して声を出してくれたのだろう。

今まで うまく言えなかつた日も 言えずに通り過ぎた日もあつたはず。

それでもその日は

「やってみよう」と心を前に動かした。

新たな一步。成長の瞬間。

夢や希望は 最初から輝いて見えるものではない。

人に誇れる形をしていくなくてもいい。

「昨日より ほんの少し前に進めた」

「前はできなかつたけれど 今日はできた気がする」

そういうことが 成長につながる希望の芽 だと思っている。

子ども達は今 失敗をしながら 迷いながら成長している。

私達大人は

その小さな芽を見逃さずに しっかり価値付けてほめてあげたい。

そして 深い目で信じ続けたい。

この一年が 子ども達一人一人にとって

「自分にもできた」「またやってみよう」

そう思える瞬間に 何度も出会える年になりますように。

その積み重ねが やがて大きな夢となり

自分を支える希望へと育っていくことを 心から願っている。